

春季特別企画 | 2017.3/18(土) - 4/9(日) |

休館日 | 3/21(火)

あつまれ! 「線」のあそび

○みんなであそぶプログラム

毎日実施 | 10:00-16:00 (11:30-12:30はお休み)

子ども大人も一緒に「線」をきっかけにしたあそびに参加します。どんな線が見つかる?

○あつまるあそぶプログラム

土日祝実施 | 14:00-14:45 (定員32人、当日30分前受付)

「トーナメント線」... 線のあそびの勝ち抜き戦です。

○たべるあそぶプログラム

日曜日実施 | 11:00-12:00 (定員6組、当日30分前抽選)

「あげせん」... 線をあげます?!

○詳しくは、館内の館内案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



ペンや鉛筆などを置いて、すーっと腕をのぼすだけで引ける「線」。

ただ線をひくだけ。

その中にわたしやあなたのそれぞれの個性が見えてきます。

すぐくまっすぐだったり、ちょっと揺れていたり、

自由に伸びていたり、ところどころ途切れていたり。

あつまれ! 「線」の あそび

2017.3/18(土) - 4/9(日) |

愛知県児童総合センター

時間 | 10:00-16:00 (開館時間は9:00-17:00)

休館日 | 3/21(火)

主催 | 愛知県児童総合センター (公益財団法人愛知公園協会)

さがして、みつめて、考えて、からだを動かして遊びます。

ただただ伸びていく線をきっかけに、

何かのカタチにしようとか、何かを描こうと思わない、

新しい発見があるかもしれません。

自分の線や、いつも一緒にいる家族、友達の色を見つめてみると

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol.

2017 春 27

春季特別企画

あつまれ!
「線」のあそび

特集 | お父さん応援プログラム
「閉ざされた児童総合センターからの脱出」

特集 | 冬季特別企画

みみをすます

～さく・みる・かんじる

子育てのおはなし 第27集

募集とお知らせ

愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ畑岡乙 1533-1
TEL 0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
http://www.acc-aichi.org/

開館時間 = 9:00 - 17:00

入場料 = 中学生以下無料、その他 300円

3月の休館日 = 6.13.21日

4月の休館日 = 10.17.24日

5月の休館日 = 8.15.22.29日

6月の休館日 = 5.12.19.26日

公共交通 | 地下鉄東山線「線が丘」駅より徒歩約10分、愛知環状鉄道「A草」から徒歩約10分、JR東海「長久手駅」より徒歩約10分、名鉄バス「長久手駅前」から徒歩約10分、名鉄バス「長久手駅前」から徒歩約10分、名鉄バス「長久手駅前」から徒歩約10分



お子さん応援プログラム
閉ざされた
児童総合センターからの
脱出

「お父さん応援プログラム」はお父さんとお父さんらしく子育てを楽しむきっかけとなることを目的として毎年実施しています。平成28年度は閉館後のセンターを舞台にした謎解き脱出プログラムを企画しました。参加申し込みが殺到し、当初予定の10月の実施に加えて2月に追加実施をするほどになりました。夕暮れ時の薄暗くなった館内のさまざまな場所に、大人も本気にならないと解けないような謎と子どもにしか出来ないミッションが現れ、父と子で制限時間内の脱出を目指してハラハラドキドキの人間土ご一緒に顔を寄せ合って考え込んだり、謎が解けて喜びがあったりするステキな姿が見られました。無事脱出できた親子も、脱出できなくてやしかった親子も、充実感いっぱいの表情でした。父と子と一緒に夢中になる「お父さん応援プログラム」を次回もご期待下さい。



みみをすます～きく・みる・かんじる

今回の企画では、私たちの身の回りの音にそと「みみをすます」さまざまなあそびのプログラムを実施しました。紙、土、石、金属などの素材から生まれる音を確かめ、アーティストが制作したサウンドオブジェの音を楽しんだあと、自分が気に入った音をつくる体験、館内に設置した「音の箱」をさがして音を記録するあそび、土を使って音のイメージをかたちにするあそびなどのほか、アーティストと一緒におこやあそびも実施。新しい気づきのきっかけとなる「みみをすます」体験の場となりました。

1 いろいろな素材の音をみつめよう

石、紙、木、瓶いた土、金属、竹など身近な素材から出る音を楽しみます。



2 サウンドオブジェ

アーティストによる、音が出る作品を体験します。



金沢健一さんの作品

植口一也さんの作品

3 音をつくる

紙や木、金属などできた音器の中にさまざまな素材から1つ選び、自分の音をつくります。



Pick Up

アーティストとみみをすます 3組のアーティストによるプログラムで身近な音や、音の動き、カタチを楽しみました。



チームO△□の「ひかり・カタチ・おと」セロハン紙などを組み合わせてつくったカタチに音をつけた。プロジェクトでひかりをとじて大きく映し出されました。

YOK.さんの「なんだかうれしい音あつめ」身の回りあるものを一つつかって、なんだかうれしくなるような音をつけた。YOK.さんに録音してもらいました。みんなの「なんだかうれしい音」が重なりチャレンジタワーの中に響き、楽しい空間になりました。

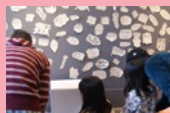
植根智也さんの「ごくく・なぞる」たくさんスピーカーを使って音を動かし、それを指、カタチ、ヒモでなりました。音の空間性の不思議さに気づきました。



音のカタチ
くしをひいて出た音の音楽からイメージしたカタチを土の粘土でつくります。



いる
豆や米を炒って出る音を楽しみます。



サウンドハンティング
館内に隠されたボックスを探して聞こえる音をメモします。気に入った音を吹き出しに書いて飾ります。



ききみみツアー
館内のあちこちへかけて「ききみみ」をたてて音をあつめます。



このあそびは平成28年度
冬季特別企画として実施されました。

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第27話

おんぶってかっこわるい？
—自分を見る目と人を見る目

もうすぐ2歳になるさっちゃんのお母さんが言いました。「この子、ベビーカーが嫌い。多くって聞かないんです。だけど、帰り道なんかは疲れて「だっこ」となるし寝てしまうこともあるんです。それでもベビーカーには座らない。そうすると、荷物を載せたベビーカーを押しながら子どもを抱っこして帰らないといけない、本当に疲れてしまう。」それを聞いたある人が「おんぶしたら?」と言いました。さっちゃんのお母さんは言います。「でも、おんぶってかっこ悪い。」

さっちゃんのお母さんに聞きました。「子どもをおんぶしている人を見て「かっこわるい」って思う?」。さっちゃんのお母さんは言います。「思わない。頑張ってるなって思う。」
こういうこと多いではないでしょうか? 自分に対して見る目と、人に対する見る目の違い。思い込んでいること、時には立場を変えて見てみませんか? 案外自分で自分を縛っていることがあるかもしれません。

募集とお知らせ

トコトコプログラム

「大人がたのしい子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが一緒に楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

3/1(水) 14:30～ くつたであそぶ
3/8(水) 14:30～ えのぐであそぶ
3/15(水) 14:30～ つみきであそぶ

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親
定員：15組程度
参加費：無料(入場料300円が必要)
受付：プログラム開始30分前から
1Fインフォメーションにて先着順
※受付時刻に参加希望者が定員以上の場合は抽選



トコトコプログラム「くつたであそぶ」



トコトコプログラム「えのぐであそぶ」

あのねとLINE@

「あのねとこのや(子育てひろば)」に関する様々な情報をLINEで配信しています。「トコトコプログラム」や子育て支援に関するプログラムの情報をいち早くお知らせします。



@acc-aichi Q

お父さん応援プログラム 「アナログカフェ」

毎月第3日曜日までオープンする「アナログカフェ」は、お父さんと子どもでもボードゲームやカードゲームなど、アナログなあそびを楽しむことができる空間です。その間、お母さんはのんびり館内で過ごしてください。

日時：毎月第3日曜日 13:30～15:30
随時参加
場所：2F「コララボ」
対象：小学生とその父親
参加費：無料(入場料300円が必要)



アナログカフェ

移動児童館・ゆめたま号

愛知県児童総合センターのあそびとスタッフを「ゆめたま号」に乗って、県内の児童館などに運び、現地のスタッフとともに地域の子ども・大人と遊ぶプログラムを提案します。

※平成29年度の案内と事業は県内各市町村の児童福祉協議会を通じて4月中旬以降に予定です。



移動児童館「チャレンジマート」



ゆめたま号

※プログラムは予告なく変更する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。